

2025年1月6日

関東ラグビーフットボール協会
理事長 大原 俊一 様
関西ラグビーフットボール協会
理事長 松原 忠利 様
九州ラグビーフットボール協会
理事長 御領園 昭彦 様
都道府県ラグビーフットボール協会
理事長 各位

競技規則の改正について（通達）

【競技運営】

（公財）日本ラグビーフットボール協会

（承認済み・押印省略）

専務理事

拝啓、平素は日本ラグビーの普及発展につきまして多大なるご尽力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

さて、ワールドラグビーよりこのほど、下記の通り、2024年11月14日に開催されたワールドラグビー理事会にて承認された世界的試験実施ルールに関する通達が発出されました。日本協会でもこれを受け、ここに通知いたします。貴協会におかれましても、加盟都道府県協会、および、各チームに周知徹底いただけますようお願い申し上げます。

敬具

記

ワールドラグビー世界的試験実施ルール

施行日：

- 世界的には、2025年1月1日以降に新たにシーズンが始まる大会またはリーグが対象となるが、日本国内においては2025年4月1日より施行される。
- SVNS：これらの改正は、SVNSにおいてただちに施行される。

また、本通達文書には以下も含まれる：

- ワールドラグビーSVNS(セブンズ)シリーズ 2024-25 シーズンに実施対象を限定した試験実施ルール
- （競技規則における）用語の変更

- エリートレベルの15人制ラグビーにおけるTMOプロトコルの改正
- SVNS(セブンズ)シリーズにおけるTMOプロトコルの改正

世界的試験実施 - 2025年1月1日より施行(国内では2025年4月1日より施行)

競技規則	概要	競技規則の文言
タイミング		
8.8d	コンバージョンのキック時間が60秒へ短縮	d、c トライが与えられた時点から 90 60秒以内(競技時間)にキックを行う。ボールが転がり、置き直したとしても同じである。
8.8a	上記に伴う変更	キッカー: a. 不適當でない限り、それまでプレーされていたボールを使う。罰:キックは認められない 条項b、c、dをa、b、cに改める。
18.12	ラインアウトの形成まで30秒以内	18.12: 各チームは、 遅延なく マークが示されてから30秒以内にラインアウトを形成する。 罰:フリーキック
ラック・モール・スクラムでのクリーンなプレー		
15.18新条文 (現行の15.18-19を改訂)	ラックベースで9番にスペースを作る	15:18: ラックに参加していたプレーヤーは、ラックの近くにおいてボールを出そうとしている相手側プレーヤーにプレーしてはならない。 罰:ペナルティ
16.18新条文	モールベースで9番にスペースを作る	16.18: モールに参加していたプレーヤーはモールの近く(1m以内)においてボールを出そうとしている相手側プレーヤーにプレーしてはならない。 罰:ペナルティ
19.30a	スクラムで9番にスペースを作る	19.30 スクラムが始まったら、ボールを保持していないチームのスクラムハーフは: a. 両足をスクラムの近くでボールの後ろ、および、スクラムのそばに置いて位置に着くが、フランカーとナンバーエイトのあいだのスペースではない トンネルのセンターラインを超えない位置にいる
ラインアウトでボールがノットストレート		
18.23a	ボールがストレートに投げられなかった場合の制裁を改正する。	18.23 ボールは必ず: a. マークオブタッチに沿って、ラインアウトのプレーヤーに向かってまっすぐに投げ入

		<p>れなければならない。</p> <p>罰：防御側がボールを争うために味方のプレーヤーをリフトしない場合、プレーは続行される。防御側が味方のプレーヤーをリフトしてボールを争った場合ラインアウト、またはスクラムの選択肢。ラインアウトが選択され、ボールが再びまっすぐに投げ入れられなかった場合、最初にボールを投入した方のチームにスクラムが与えられる。</p>
--	--	--

モールは一度止まったらボールをプレーするという改正案、および、プレー再開からのマークに関する改正案は、承認とならなかった。

フィールド内外での制裁プロセスの改正（20分間のレッドカードによる交替など）についての決定は、秋の国際試合ウィンドウ、2025年のシックスネーションズおよびスーパーラグビーシーズン終了後の2025年5月に延期された。

実施対象を限定した試験実施ルール - : ワールドセブンズシリーズ(7人制) : 即日施行

競技規則	概要	競技規則の文言
8. 8d	トライ/キックオフ時間の短縮	<p>コンバージョン: 8:8 キッカーは: d. トライが与えられた時から 30 秒以内(競技時間)にキックを行わなければならない</p> <p>トライが与えられてから45秒以内に、キックを行い、センターからプレーを再開する。</p> <p>e. トライが与えられ、30秒以上経過した場合、試合再開のキックを行わなければならない。試合再開のキックは、トライが与えられてから45秒以内に行わなければならない。</p> <p>得点を挙げたチームが、残り30秒を切った時点でトライを断るか、または時間が切れる前にコンバージョンキックを行う場合には、キックオフを行わなければならない。キックオフはトライが与えられたときから45秒以内でなければならない。</p>
12. 4		<p>12. 4一方のチームが得点した後、相手側は、ハーフウェイライン上の中央、または、その後方からドロップキックを行い、プレーを再開する。この試合再開のキックは、<u>競技規則第8条の8dおよびeに従ってコンバ</u></p>

		＝ジョンが蹴られた、あるいは、蹴らないと選択されてから、あるいは、ペナルティゴール、または、ドロップゴールが蹴られてから30秒以内に行われなければならない。
--	--	--

用語の変更

以下の用語を、新たにラグビー競技を観戦する人たちにわかりやすく伝えるために変更する：

現在の用語	新しい用語
ゴールライン (Goal Line)	トライライン (Try Line)
インゴールエリア (In-goal area)	トライゾーン/トライエリア (Try zone/Try area)
ラッチ (Latched)	プレ・バインド/プレ・ボンド (Pre-bind/Pre-bound)
ゴールラインドロップアウト (Goal Line drop-out)	トライラインドロップアウト (Try Line drop-out)
一時退出 (Temporary suspension)	イエローカード (Yellow Card)
退場 (Permanent exclusion)	退出/レッドカード (Sent off/Red card)
ノックオン (Knock-on)	ノックフォワード (Knock forward)
ジャッカル/ジャッカラー (Jackal/Jackler)	スティール/スティーラー (Steal/Steaker)

TMO プロトコル

エリート 15 人制と SVNS (7 人制) の TMO プロトコル改正に関する文書は以下を参照すること：

エリート 15 人制：<https://passport.world.rugby/media/kg0dsloa/2025-tmo-protocol-en-approved-by-council-nov-2024.pdf>

SVNS (7 人制)：https://passport.world.rugby/media/xdadtkep/2024-25-7s-tmo-protocol_revision_nov24.pdf

■ 通達対象：加盟協会、競技運営関係者、加盟チーム

■ 文書作成：日本ラグビーフットボール協会 国際部門・ハイパフォーマンス部門

■ 本件についてのお問い合わせ先：

公財) 日本ラグビーフットボール協会

ハイパフォーマンス部門審判グループ (referee@rugby-japan.or.jp)

以上